

今こそ 若い力で 新しい習志野。

Report 関根ひろゆき No. 39

令和三年度 第二回定例会市政報告



子育て行政について

Q: 待機児童の解消見込みについて伺う。

A: 定員拡大を実行し、令和7年度までに待機児童の解消を目指す。

Q: 既存市立幼稚園・保育所の統廃合について伺う。

A: 集団教育の観点から将来的に4・5歳児ともに10人以下となることが見込まれた場合、同一中学校区のこども園との統合を検討する方針となっている。

送迎保育ステーションとは？

送迎保育ステーションとは、駅前等の利便性の高い場所に施設を設置し、複数の認可保育所等にバスで送迎する事業。

待機児童が生じている地域と余裕のある地域の保育需要の違いを埋めることで待機児童の解消と既存施設の活用を図る制度として、近隣市では、流山市、松戸市などが実施しております。

要望：送迎保育ステーションの導入により、保育需要の地域格差を解消できる事が出来ると考える。

需要の多い地域での施設の確保が困難な現状、保護者の負担軽減、また習志野市の保育に貢献していただいている既存市内保育事業者・今後参入してくるであろう事業者の事を考え、送迎保育ステーションの調査・研究及び保育士の確保策の実施を。

流山市送迎保育ステーション

乳幼児の安全面の課題はあるが、課題をクリアすることが出来れば、有効な手段です。



保育所連絡帳の電子化について

Q: 保育士の負担軽減やコロナ対策、また保護者の負担軽減のために保育所の連絡帳の電子化は必要だと考えるが当局の見解を伺う。

A: 新しい生活様式への対応として有効な手法の一つであると考えますが、一方でスマートフォン等をお持ちでない保護者への配慮も身近な課題として考えられるので、引き続き調査研究、費用対効果等の検討を進めていく。

要望: 調査では子育て世代の約98%がスマートフォンを所有している。利便性の向上、保育の様子を見る機会の減少等を考慮し、早期導入を要望する。

保育所連絡帳の電子化



保育の質の向上について

Q: 習志野市の保育の質の向上についてどのような取り組みを行っているのか伺う。

A: 公立施設と私立施設の保育士等が合同で研修を受ける機会を設けるなど市全体の保育力を高める取り組みを行っている。

要望: 公立と私立では保育の質に格差が生じている声を耳にする。公立でも私立でも高い水準の保育が受けられるよう更なる研究と、保育士負担軽減のための各種施策の実施を要望する。

病児送迎サービスについて

保育中に体調不良のお子さまが発生した際に、保護者の都合でお迎えができない場合に、病児保育施設の職員(看護師等)が保育所等にお迎えに行き、診療所にて受診した後、病児保育施設にてお預かりを行う送迎サービス付病児保育事業。近隣では船橋市が実施している。

活動報告 Report



習志野市自治功労賞表彰式に参加

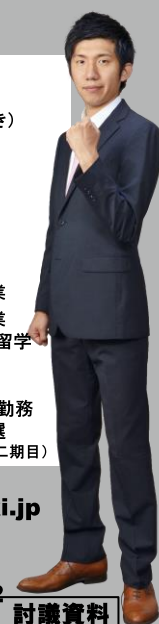


クニナ奏の杜保育園入園式に参加

PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)
1986年7月13日生まれ
谷津保健病院にて出生
習志野市立谷津幼稚園卒園
習志野市立谷津小学校卒業
習志野市立第一中学校卒業
習志野市立習志野高等学校卒業
亜細亜大学法学部法律学科卒業
Western Washington University留学
参議院議員事務所勤務
千葉県議会議員事務所勤務
衆議院小林鷹之公設秘書として勤務
2015年習志野市議会議員初当選
2019年習志野市議会議員選挙当選(二期目)

ホームページ
<http://sekine-hiroyuki.jp>
発行: 関根ひろゆき後援会
習志野市谷津5-29-6
☎ & 〆: 047-779-4092



討議資料